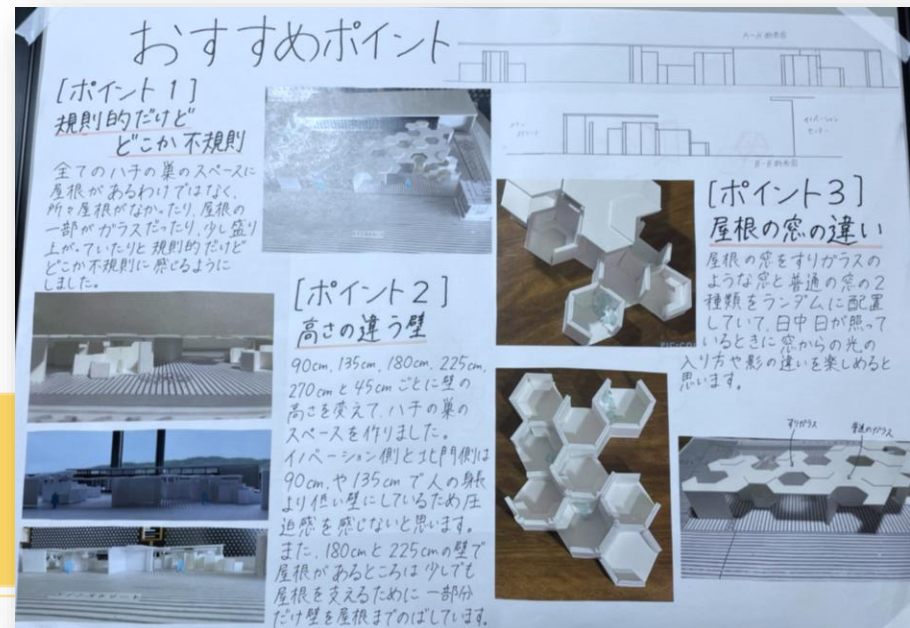
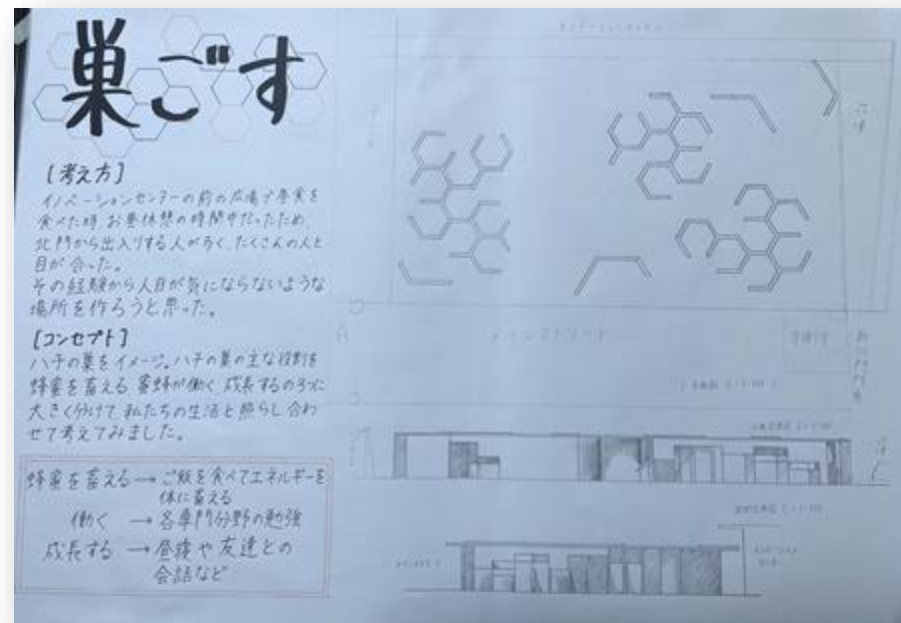


巣ごす

22UH048 福永桃子

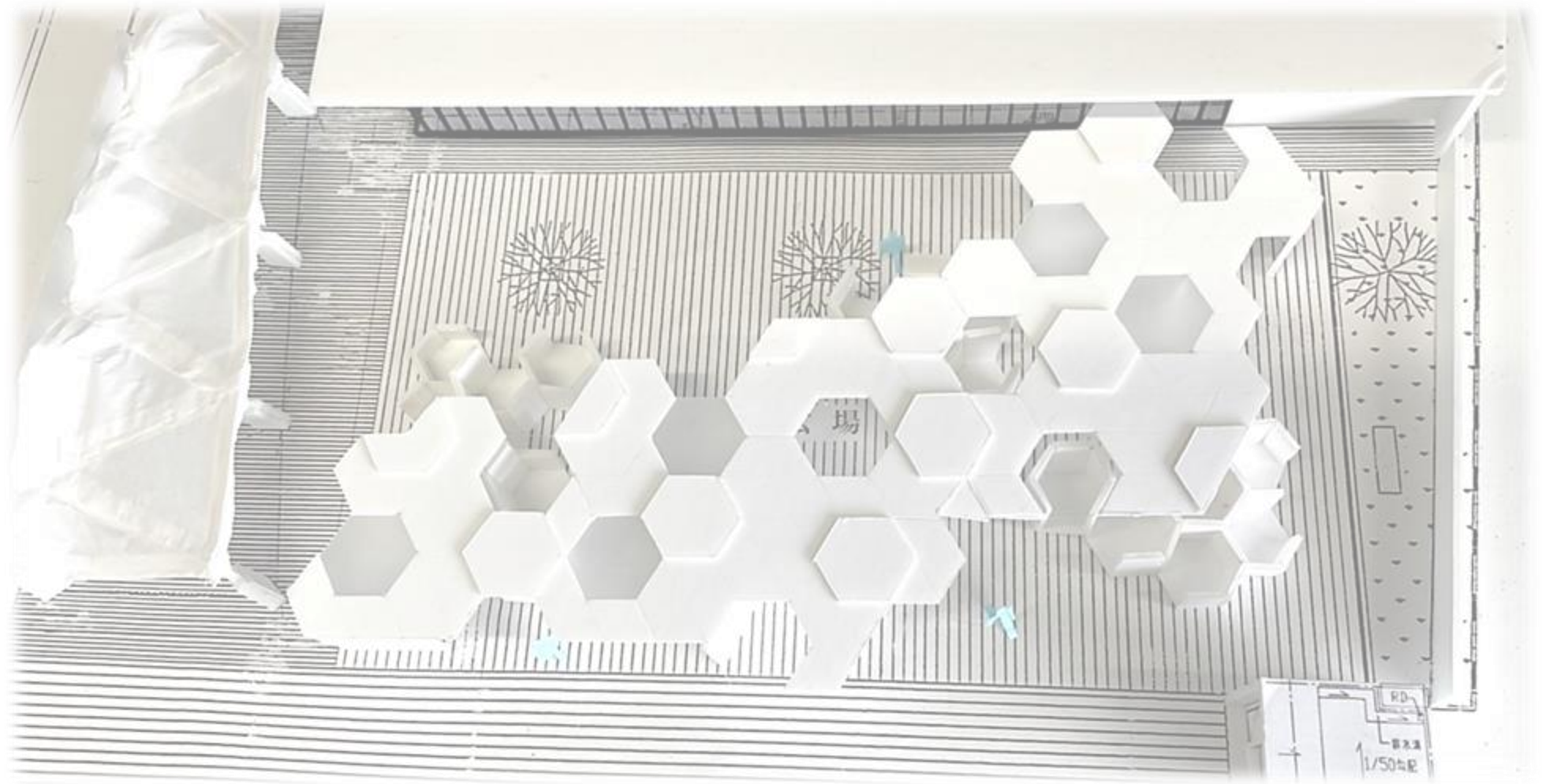




計画地の考察

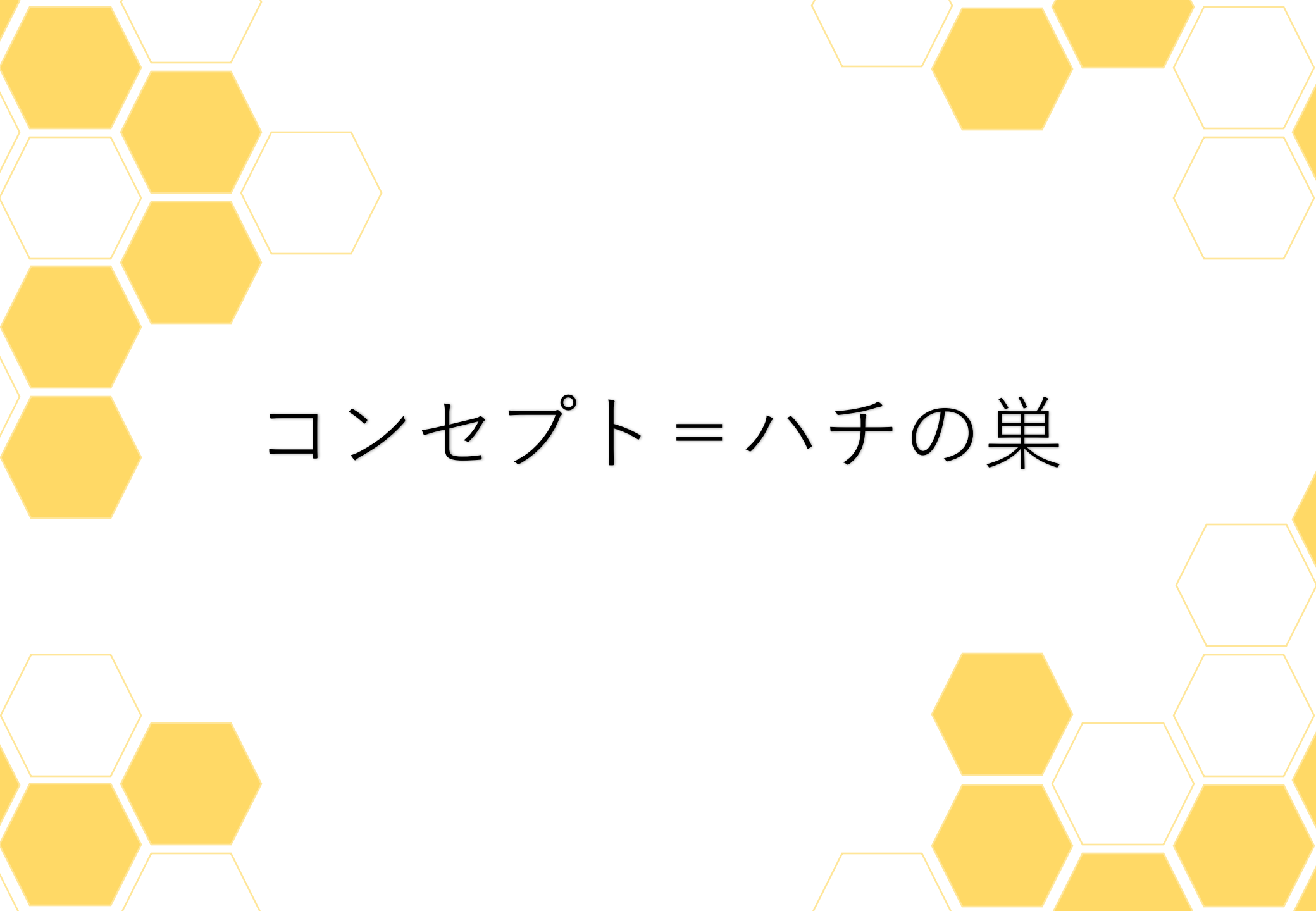
1 敷地の状況をどのように考えたか（捉えたか）

イノベーションセンターが全体的にガラス張りで開放感があっていいなと思った。
だけど北門から出入りする人たちと目が合いやすくご飯が食べずらかったり、ゆっくりくつろげないと感じた。



2 「より良い空間」「気持ちの良い空間」をどのように考えたか

- 1) 人目につかずに休憩したり、過ごしたい人に向けて
- 2) 昼食をとったり、勉強をしたり、ゆっくり過ごせる場
- 3) 高さの違う壁、ランダムにガラスが貼ってある屋根によって、囲まれながらも閉鎖的になりすぎない空間を作ろうと考えた。

The background of the slide is white, decorated with yellow hexagons. Some hexagons are solid yellow, while others are white with a thin yellow outline. They are arranged in a honeycomb pattern, primarily along the left and right edges of the slide.

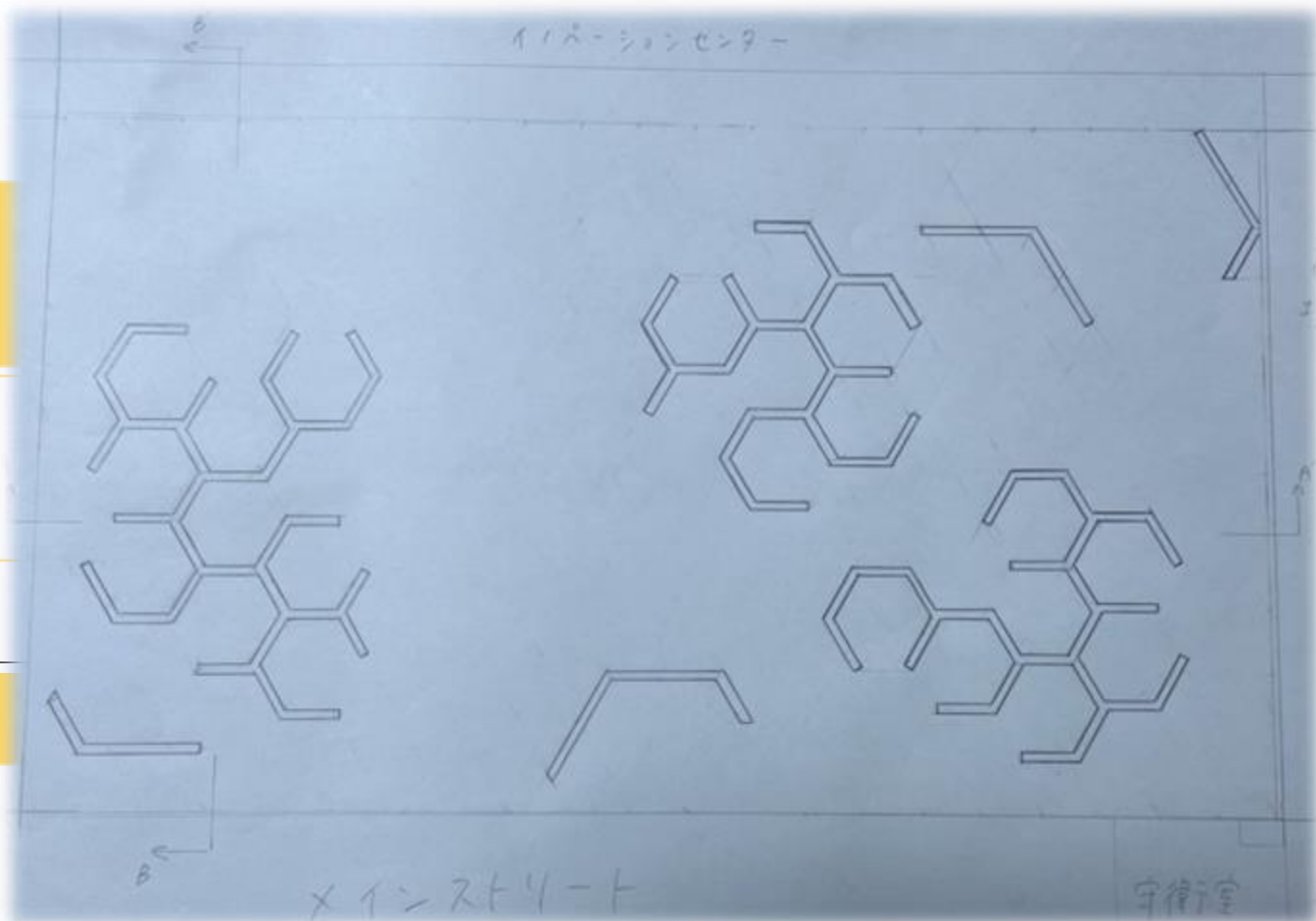
コンセプト = ハチの巣

蜂蜜を蓄える = ご飯を食べて
エネルギーを蓄える

働く = 勉強をする

成長する = 昼寝したり人と情報
交換をしたりする

平面計画 全体構成



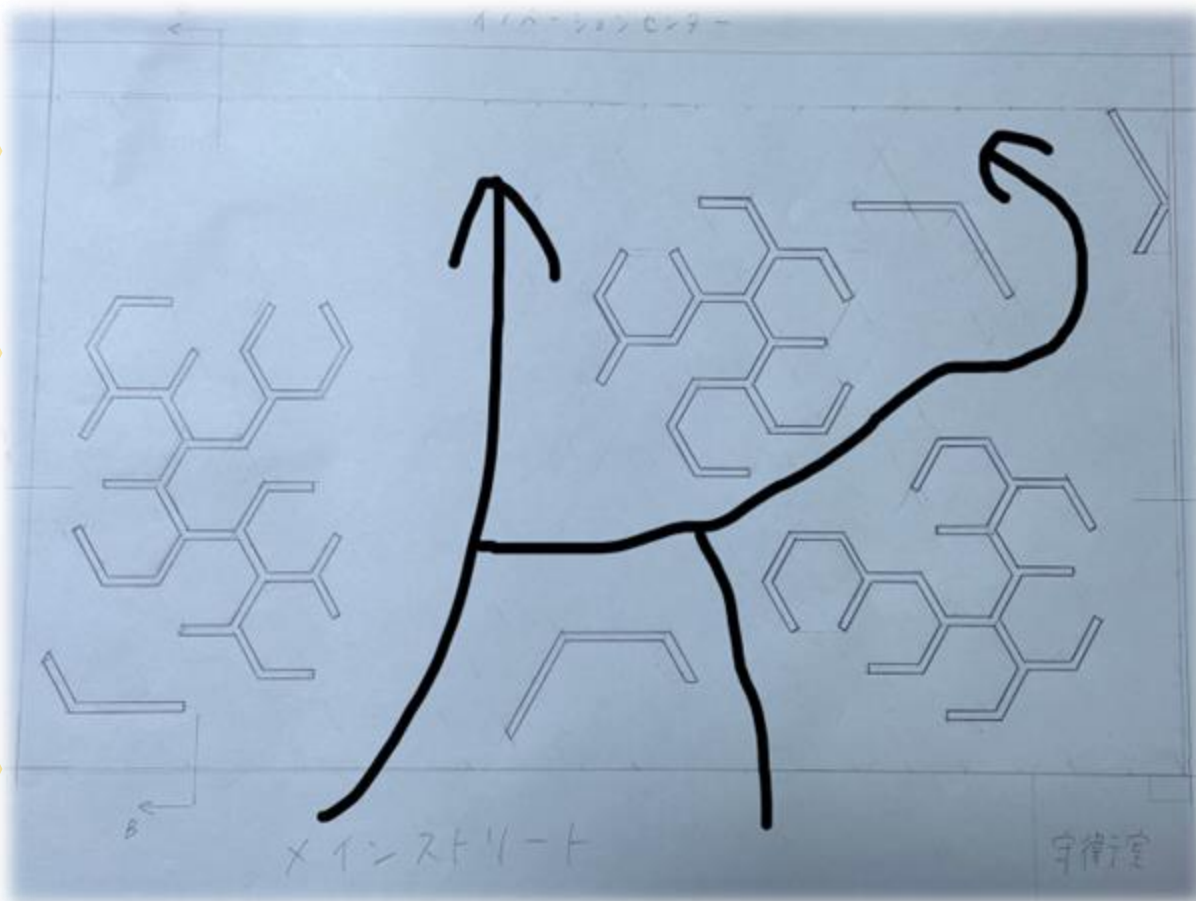
1/100の平面図

3.全体計画について

全体的に右側に多く壁を配置していて、イノベーションセンターに併設されているカフェのものが近くで食べれるようにしました。

イノベーションセンター側の入り口の前付近には壁がほとんど配置せず、初めて来た人でも入り口がわかりやすいようにしました。

動線計画 空間の開き方 人の流れや滞留

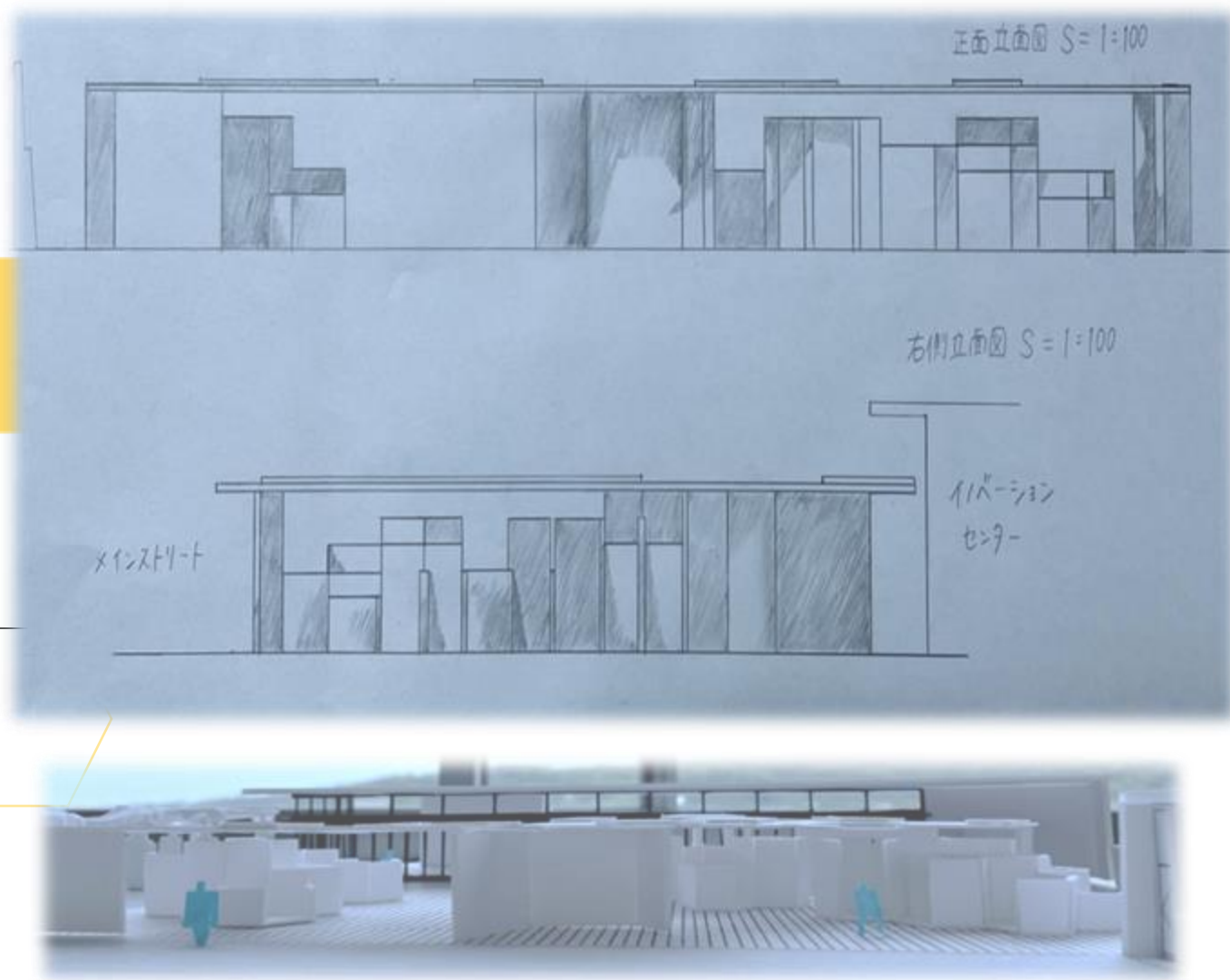


3.全体計画について

北門から入って、イノベーションセンターに迷わずいくこともできるし、守衛室側からまわっていくこともできる。

また、イノベーションセンターの右側にあるお手洗いの前に壁が配置されているため、人目を気にせずお手洗いに行くことができる。

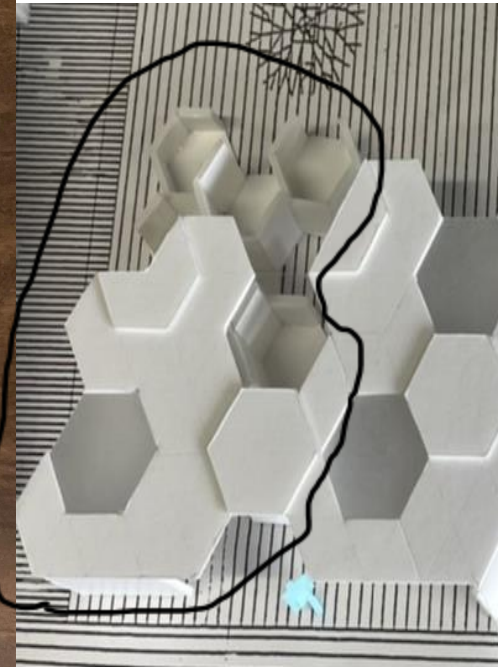
空間の開き方 人の流れや滞留



3.全体計画について

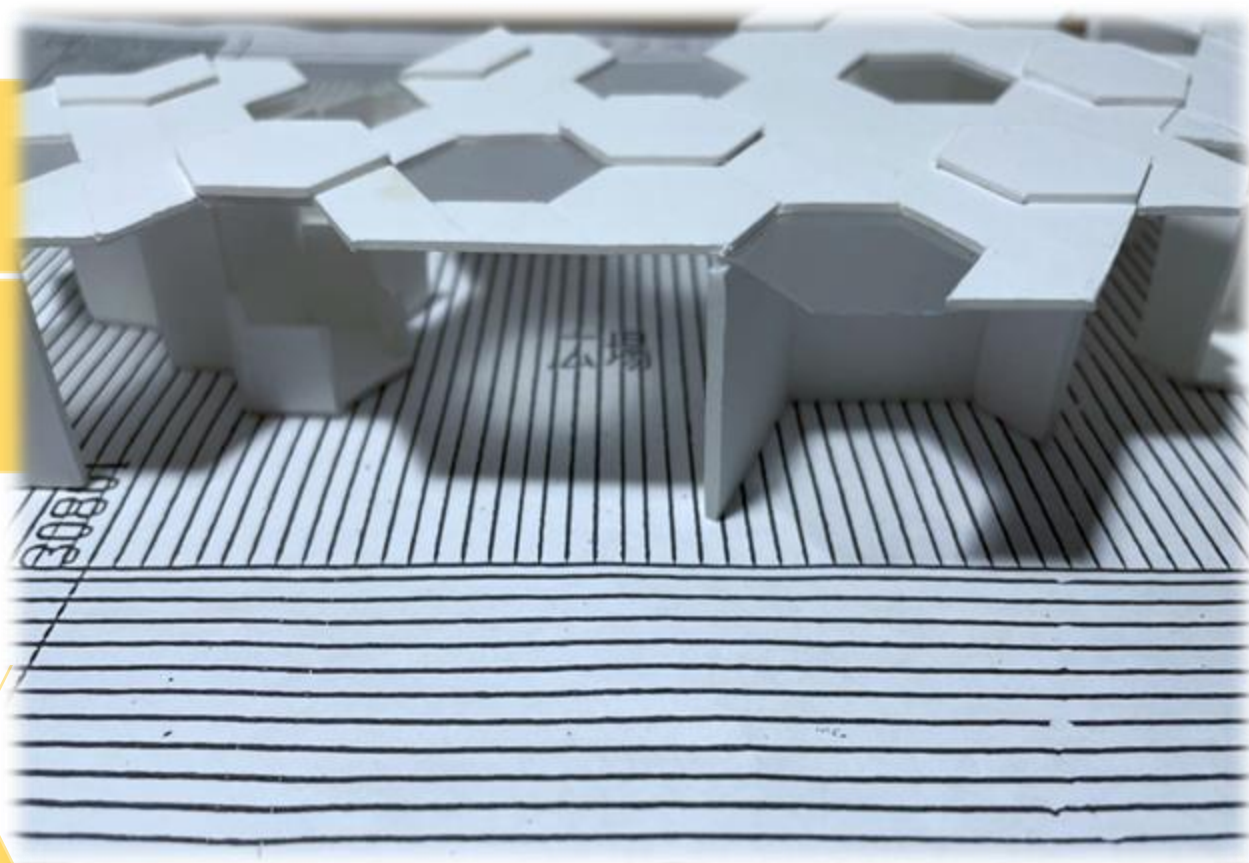
90cm、135cm、180cm、225cm、270cmの45cmずつ違う壁でハチの巣を構成しています。北門とイノベーションセンター側から見たときに90cmと135cmの人の身長より低い壁をハチの巣スペースに使うようにしたため壁によって圧迫感を感じないのではないかと考えています。

空間の開き方 人の流れや滞留



4.部分計画について:人の居場所、特徴的な空間などをクローズアップ。
ハチの巣スペースの内側に3方向か4方向に座れるベンチを取り付けて、ゆっくりすごせるようにしました。
車椅子を利用している人もこのハチの巣スペースを使えるようにベンチをとりつけてない場所があるようにしました。

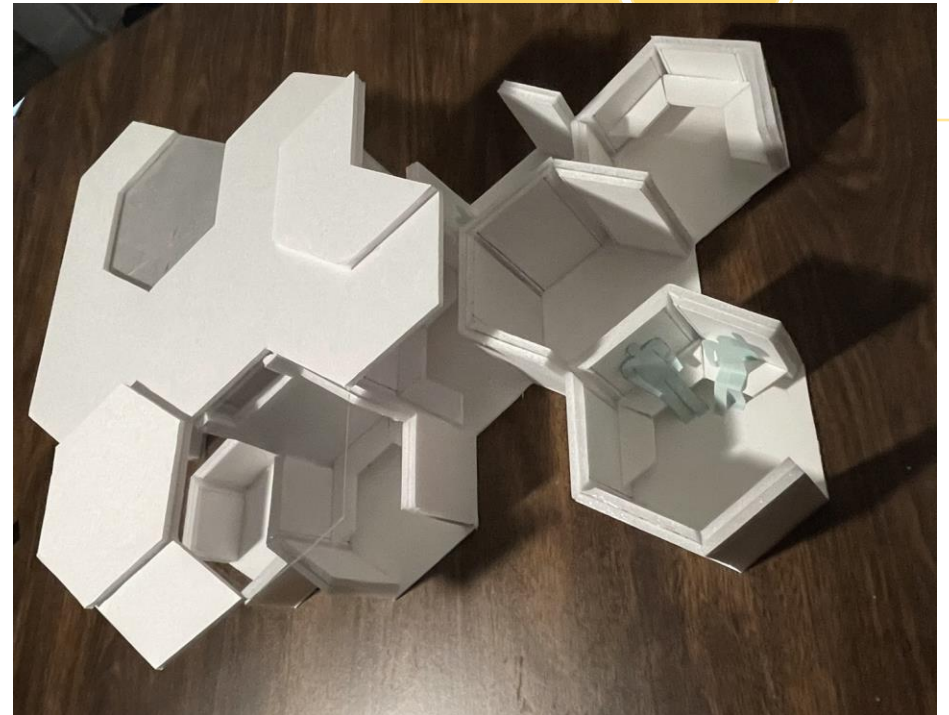
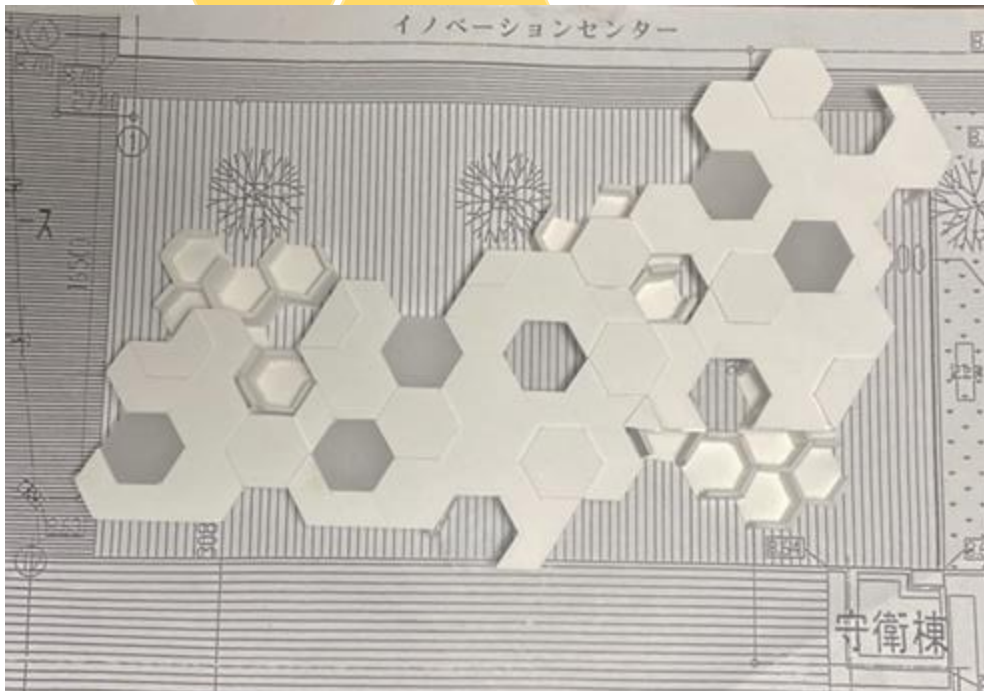
人の居場所 特徴的な空間 おすすめスポット



4.部分計画について:人の居場所、特徴的な空間などをクローズアップ。
屋根の窓をすりガラスと普通のガラスの2種類に分けて、光の入り方や影の違いを感じられるようにしました。

巣ごす

22UH048 福永桃子



ありがとうございました